

	
<p>事前説明</p>	<p>事前説明</p>
	
<p>環境講座（川井委員）</p>	<p>環境講座（川井委員）</p>
	
<p>環境講座（川井委員）</p>	<p>環境講座（交流の家）</p>
	
<p>環境講座（交流の家）</p>	<p>環境講座（JANUS 北村）</p>

図 26 環境講座の状況写真

表 8 アンケート調査結果

アンケート調査は、選択回答方式と記述方式を併用した。

①選択回答方式（別表参照）

- ・「参加者が所属しているグループ」は、「学生」30名（53%）、「地元住民」16名（28%）、「漁業関係者」9名（16%）で、学生が半数を占めていた。
- ・「これまでに、本業務での清掃活動に参加した事が有るか」については、「二回目」が35名で半数を超えており、前回参加者が多くいた。
- ・「これまでに、本業務以外での清掃活動に参加した事が有るか」については、「3～5回目」がもっとも多く29%を占めており、10回以上の参加者も多く、関心の高さが伺われた。
- ・「海岸への漂流・漂着ゴミ問題に関心が有るか」については、「とても関心がある」と「関心がある」が殆どを占めていた。
- ・「どのくらいの頻度で海岸の漂流・漂着ゴミの清掃活動をすべきだと思いますか」については、「毎月」と「3ヶ月に一度」が殆どを占めていた。
- ・「アルバイト代」については、「時給1,000円」が57%、「時給500円」が22%、「無料」が20%で、魅力的な時給とされているようであった。
- ・「本活動に今後も参加できるでしょうか」については、「出来るだけ参加」が72%で最も多く、意欲的であった。
- ・「環境講座」については、「非常に判りやすい」と「判りやすい」が殆どを占めていた。
- ・「環境講座のテーマ」については、「非常に関心がある」と「関心がある」が多かった。
- ・「地域交流会」については、「非常に楽しい」と「楽しい」で75%を占め、好評であったと思われた。
- ・「今後も地域交流会に参加したいと思いますか」については、「参加したい」が57%を占めた。

②記述方式（個別の記述内容は省略）

- ・最も多くの記述があった内容は、「海岸への漂着ゴミが多いことが分かり、清掃活動を通じてゴミへの関心が高まり、自分の日常生活でも気を付けたい」、「海岸がきれいになり、社会貢献ができ、胸がすっきりした」、「また参加したい」というものであった。
- ・また、環境講座でのゴミの生態系への影響やDNAなど、興味深く大変勉強になったこと、地域交流会や現場作業などで地域の方々と会話ができたことがよかったことなどが、比較的多く挙げられていた。

別表 アンケート調査の集計結果

質問	選択肢	学生	地元住民	漁業関係者	無回答	
調査人数		30	16	9	2	57
これまでに、本業務での清掃活動に参加した事が有りますか	初めて	9	4	9	0	22
	二回目	21	12	0	2	35
これまでに、本業務以外での清掃活動に参加した事が有りますか	初めて	4	7	2	0	13
	二回目	7	2	0	2	11
	3～5回目	12	3	1	0	16
	5～10回目	2	2	0	0	4
	10回以上	5	2	5	0	12
海岸への漂流・漂着ゴミ問題に関心が有りますか	とても関心がある	4	2	2	0	8
	関心がある	25	14	6	2	47
	あまり関心がない	1	0	1	0	2
	関心ない	0	0	0	0	0
どのくらいの頻度で海岸の漂流・漂着ゴミの清掃活動をすべきだと思いますか	毎月	9	4	1	0	14
	3ヶ月に一度	16	9	7	1	33
	半年に一度	5	1	1	1	8
	一年に一度	0	0	0	0	0
	2年に一度	0	0	0	0	0
アルバイト代について教えてください	時給1000円	15	12	2	2	31
	時給500円	6	4	2	0	12
	無料	9	0	2	0	11
本活動に今後も参加できるでしょうか	出来るだけ参加	20	14	4	1	39
	冬季以外	2	0	1	1	4
	誘われれば	5	1	2	0	8
	不参加	0	0	0	0	0
	不明	2	0	1	0	3
		5	9	1	0	15
講座内容は如何でしたか	非常に判りやすい	5	9	1	0	15
	判りやすい	19	6	6	2	33
	普通	6	1	2	0	9
	判り難い	0	0	0	0	0
講座のテーマは如何でしたか	非常に関心がある	6	6	1	0	13
	関心がある	16	8	3	1	28
	普通	8	2	3	1	14
	関心がない	0	0	0	0	0
地域交流会は如何でしたか	非常に	4	2	1	0	7
	楽しい	13	9	1	1	24
	普通	9	4	4	0	17
	あまり	0	0	0	0	0
	楽しくない	0	0	0	0	0
地域交流会に参加したいと思いますか	積極的に	5	2	1	0	8
	参加	13	11	4	1	29
	普通	9	3	2	0	14
	あまり	0	0	0	0	0
	参加したくない	0	0	0	0	0

## 5 他地点との比較

### 5.1 共通調査結果

当調査のモデル地域は 7 県 11 海岸で実施しており、どの地点においても同様の項目により分析を実施している。各海岸における第 1 回調査および第 2 回調査における漂着ゴミの回収量 (t) を図 27 に示す。

ほとんどの地域のゴミの量は、第 1 回目調査より第 2 回目調査のほうが少なかったが、三重県だけは、第 2 回目調査のほうが多くなった。

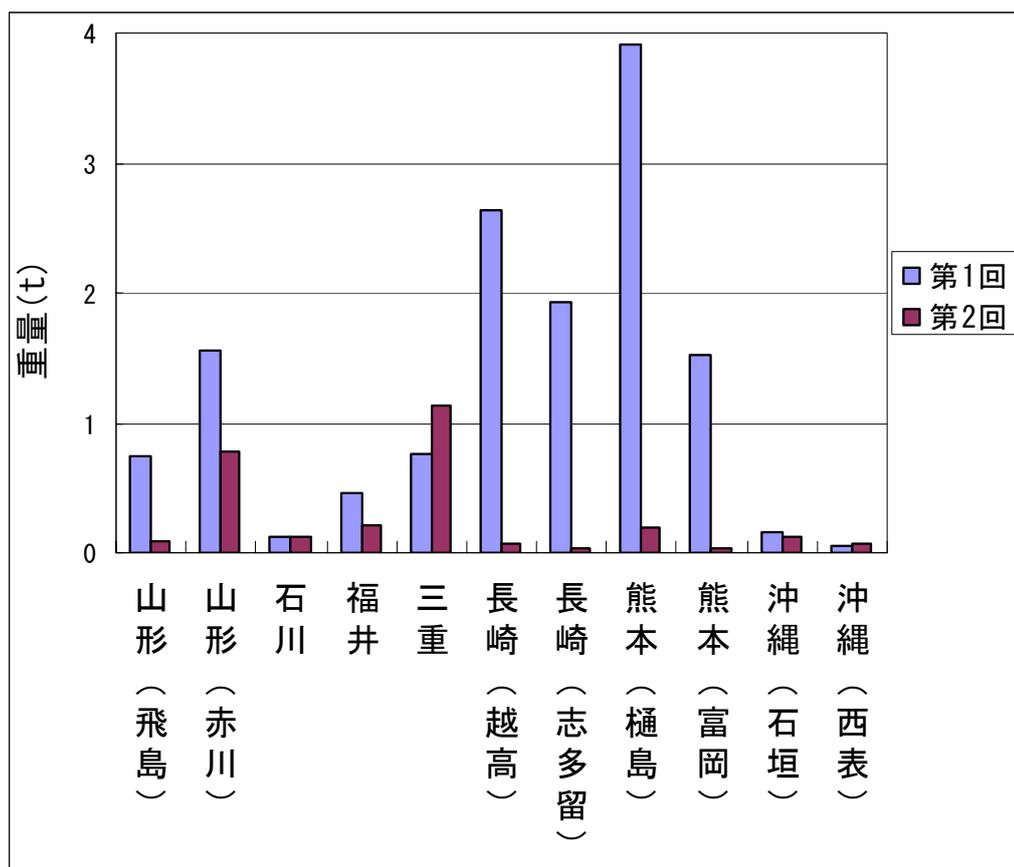


図 27 各地域における共通調査方法と回収したゴミ量 (第 1、2 回)

## 5.2 独自調査の調査方法

当調査のモデル地域は7県11海岸であり、各海岸における漂着ゴミの回収方法、回収面積、回収量には地域による特色がある。各海岸における独自調査の調査方法などをまとめ第1回調査を表9に、第2回調査を表10に示す。

なお、山形県の赤川河口部において回収されたゴミの量が突出しているが、これは回収面積が広く、バックホウなどの重機を使用しているためである。

表9 各地域における独自調査の調査方法と回収したゴミ量（第1回）

県名	海岸名	調査方法 <sup>1)</sup>					回収した面積 <sup>3)</sup> (㍍)	回収したゴミの量 (t)	回収したゴミの量 (m <sup>3</sup> )
		重機(台日) <sup>2)</sup>			船舶 (隻日)	人力 (人日)			
		バックホウ	不整地 車両	その他					
①山形県	酒田市 飛島西海岸	—	—	—	—	303	V	5	25 <sup>5)</sup>
	酒田市 赤川河口部	22	23	—	—	299	II	74	370 <sup>5)</sup>
②石川県	羽咋市 羽咋・滝海岸	1	1	4	—	165.5	I	13	67 <sup>5)</sup>
③福井県	坂井市 東尋坊周辺	—	—	0.5	6	479	II	12	58 <sup>5)</sup>
④三重県	鳥羽市 答志島	—	—	—	—	40	IV	1 <sup>4)</sup>	7
⑤長崎県	対馬市 越高海岸	5	3.5	—	—	39	V	28 <sup>4)</sup>	142
	対馬市 志多留海岸	4	4	1.5	—	44	V	35 <sup>4)</sup>	176
⑥熊本県	上天草市 樋島海岸	2	2	—	—	193	IV	45	226 <sup>5)</sup>
	苓北町 富岡海岸	3	3	—	—	301	III	13	64 <sup>5)</sup>
⑦沖縄県	石垣市 石垣島	—	—	—	—	121	I	18 <sup>4)</sup>	92
	竹富町 西表島	—	—	—	—	106	II	26 <sup>4)</sup>	130

注1) 調査方法の欄の数字はのべ台数、のべ人数を、「—」は使用していないことを示す。

2) 重機の「その他」とは積み込みの際のユニックは除く。

3) 回収した面積(㍍)は以下のことを示す。

I : 100,000m<sup>2</sup>以上、 II : 100,000m<sup>2</sup>未満 20,000m<sup>2</sup>以上、 III : 20,000m<sup>2</sup>未満 10,000m<sup>2</sup>以上

IV : 10,000m<sup>2</sup>未満 3,000m<sup>2</sup>以上、 V : 3,000m<sup>2</sup>未満

4) 回収したゴミの容量に比重0.2を掛けて算出した。

5) 回収したゴミの重量に比重0.2で除して算出した。

表10 各地域における独自調査の調査方法と回収したゴミ量（第2回）

県名	海岸名	調査方法 <sup>1)</sup>					回収した面積 <sup>3)</sup> (㍍)	回収したゴミの量 (t)	回収したゴミの量 (m <sup>3</sup> )
		重機(台日) <sup>2)</sup>			船舶 (隻日)	人力 (人日)			
		バックホウ	不整地 車両	その他					
①山形県	酒田市 飛島西海岸	—	—	—	—	190	V	5	23 <sup>5)</sup>
	酒田市 赤川河口部	21	16	—	—	126	I	157	784 <sup>5)</sup>
②石川県	羽咋市 羽咋・滝海岸	—	—	3	—	114	I	8	39 <sup>5)</sup>
③福井県	坂井市 東尋坊周辺	—	—	1	—	305	II	8	41 <sup>5)</sup>
④三重県	鳥羽市 答志島	—	—	—	—	28	IV	2 <sup>4)</sup>	12
⑤長崎県	対馬市 越高海岸	0.5	—	—	—	24	V	4 <sup>4)</sup>	20
	対馬市 志多留海岸	—	—	0.5	—	6.5	V	1 <sup>4)</sup>	5
⑥熊本県	上天草市 樋島海岸	2	1	—	—	154.5	IV	処理中	処理中 <sup>5)</sup>
	苓北町 富岡海岸	2	2	—	4	330	III	18	89 <sup>5)</sup>
⑦沖縄県	石垣市 石垣島	—	—	—	—	180	I	37 <sup>4)</sup>	185
	竹富町 西表島	—	—	—	—	120	II	34 <sup>4)</sup>	171

注1) 調査方法の欄の数字はのべ台数、のべ人数を、「—」は使用していないことを示す。

2) 重機の「その他」とは積み込みの際のユニックは除く。

3) 回収した面積(㍍)は以下のことを示す。

I : 100,000m<sup>2</sup>以上、 II : 100,000m<sup>2</sup>未満 20,000m<sup>2</sup>以上、 III : 20,000m<sup>2</sup>未満 10,000m<sup>2</sup>以上

IV : 10,000m<sup>2</sup>未満 3,000m<sup>2</sup>以上、 V : 3,000m<sup>2</sup>未満

4) 回収したゴミの容量に比重0.2を掛けて算出した。

5) 回収したゴミの重量に比重0.2で除して算出した。

## 5.3 ラベル表記言語による国別集計結果

### 5.3.1 ペットボトル

各 11 海岸における漂着ゴミのうちペットボトルのラベル表記言語によって国別に集計をしたものを図 27 に示す。

なお、この分類は、ラベルに表記された言語により国別に分類したのであり、必ずしもゴミの発生した国と一致しないことに留意する必要がある。

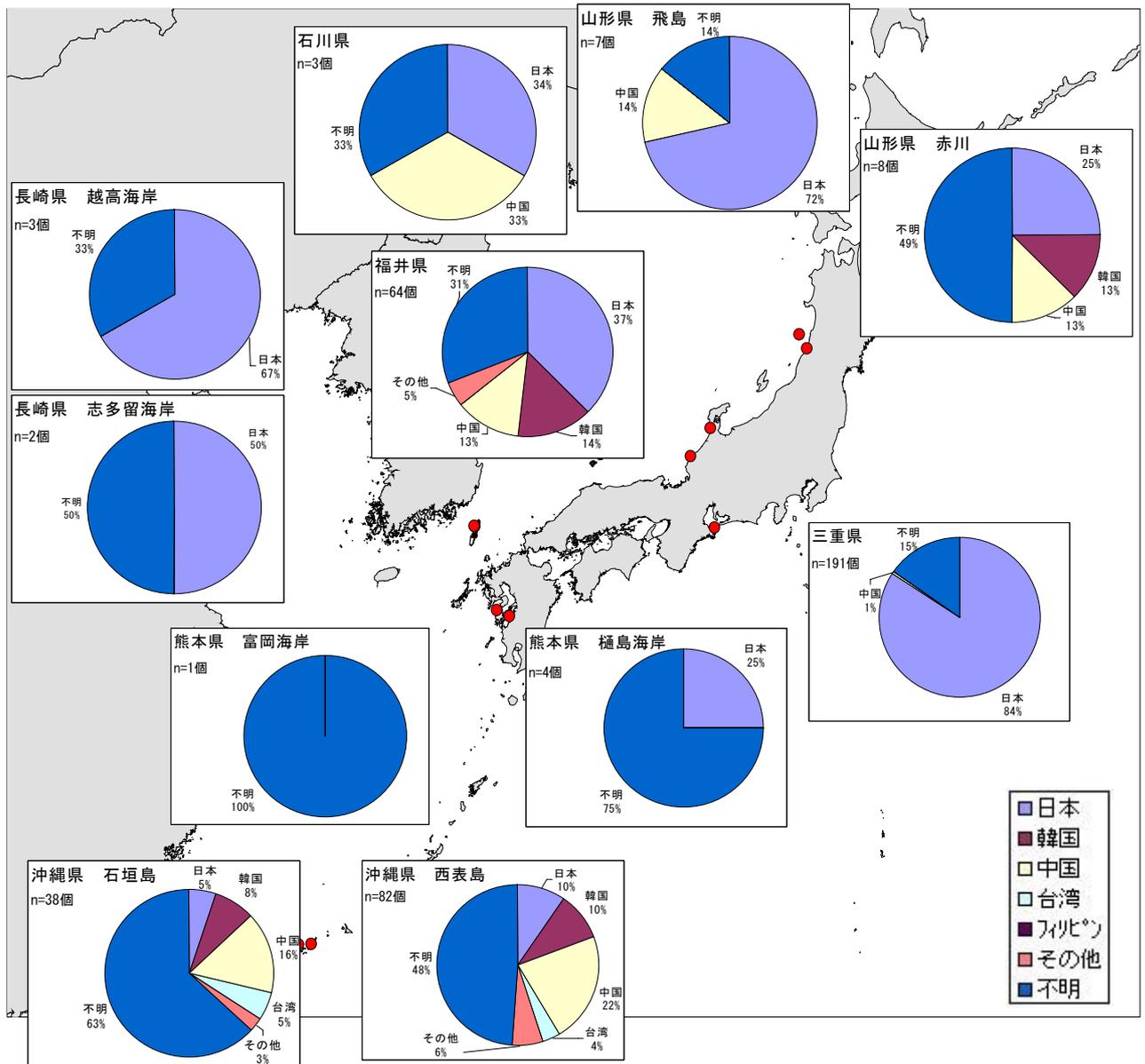


図 28 ペットボトルの国別集計結果 (第 2 回)

### 5.3.2 ライター

各 11 海岸における漂着ゴミのうちライターのラベル表記言語及び刻印によって国別に集計をしたものを図 28 に示す。

なお、この分類は、ラベルに表記および刻印された言語により国別に分類したのであり、必ずしもゴミの発生した国と一致しないことに留意する必要がある。

また、刻印による国別分類は「ライタープロジェクト ディスポーザブルライター分類マニュアル Ver.1.2」(鹿児島大学 藤枝准教授) を利用させて頂いた。

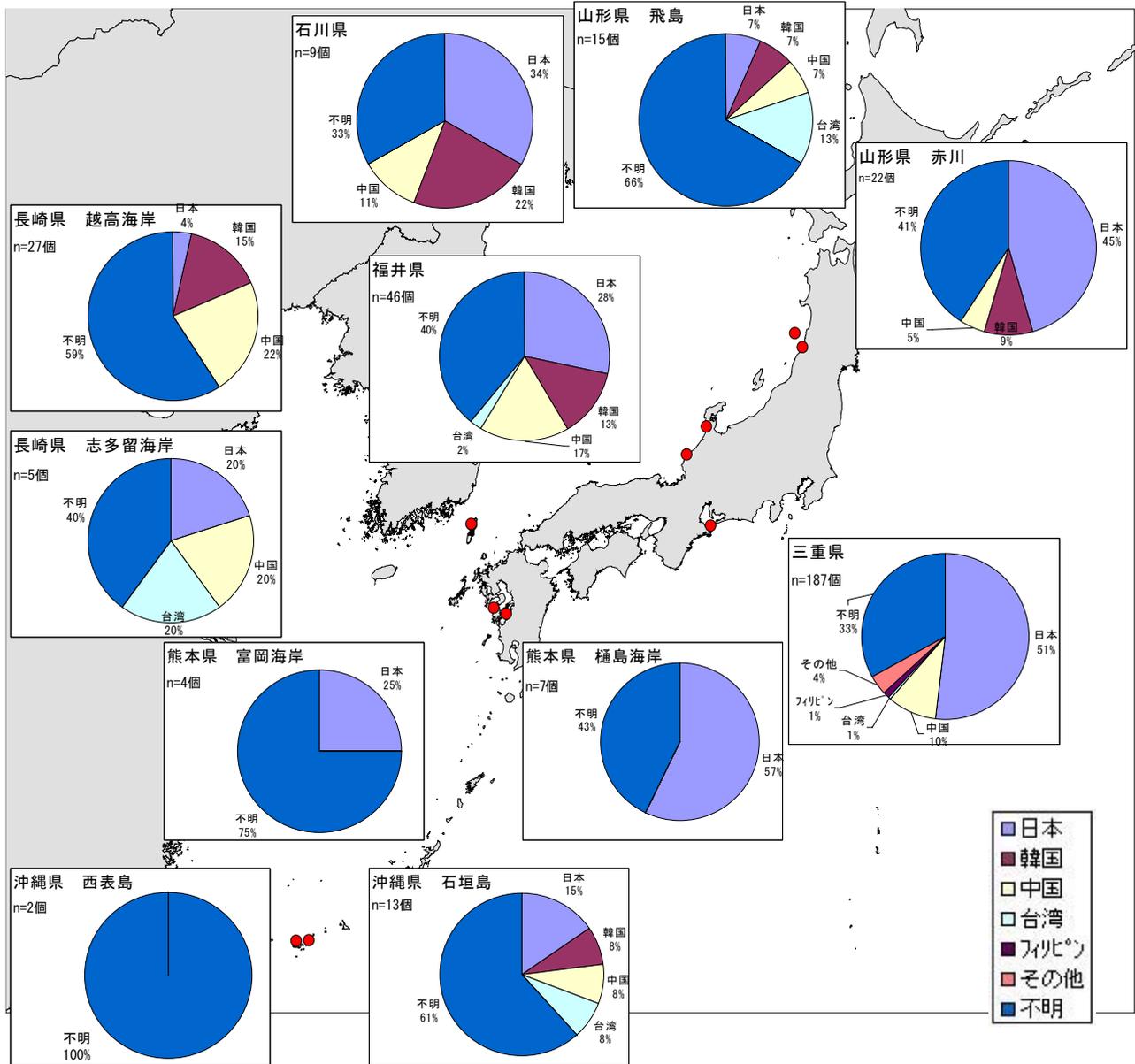


図 29 ライターの国別集計結果 (第 2 回)

## 6 来年度の調査計画

### 6.1 調査日程

来年度のクリーンアップ調査実施に際して、調査期日の間隔、気候、クリーン・ビーチいしかわとの連携などを考慮した結果、以下のような日程で実施していくこととする。

第4回クリーンアップ調査：4月上旬～4月中旬

第5回クリーンアップ調査：7月上旬～7月中旬

第6回クリーンアップ調査：9月～10月